

The 51st Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan  
**日本生物物理学会第51回年会(2013年度)**  
**ご案内**

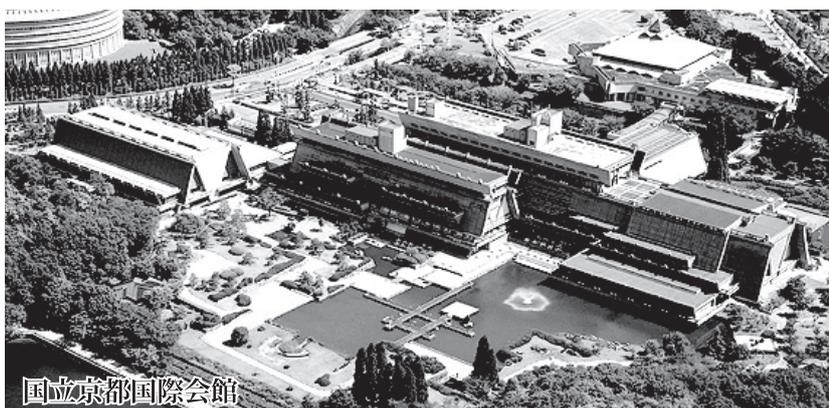
**会期:** 2013年10月28日(月) – 30日(水)  
**Date:** October 28 (Mon) – 30 (Wed), 2013

**会場:** 国立京都国際会館  
(京都市左京区宝ヶ池)  
**Venue:** Kyoto International Conference Center  
(Takaragaike, Sakyo-ku, Kyoto 606-0001 Japan)

**年会実行委員長:** 七田 芳則  
(京都大学大学院 理学研究科)  
**Chair:** Yoshinori Shichida  
(Kyoto University)

**HOME PAGE** <http://cls.kuicr.kyoto-u.ac.jp/bsj2013/>

※会期後は日本生物物理学会にデータが移行されますので、学会ホームページよりご覧ください。



**抄録本文は**

こちらからダウンロードいただけます。

[http://www.biophys.jp/dl/pro/51st\\_proceedings.pdf](http://www.biophys.jp/dl/pro/51st_proceedings.pdf)

ID: ambsj51

パスワード: kyoto2013

※スマートフォン・タブレット端末向けのプログラム  
検索・要旨閲覧アプリも現在制作中です。

(2013年10月24日(木)公開予定)

**編集・発行：日本生物物理学会第51回年会実行委員会**

日本生物物理学会第51回年会事務局

京都市左京区北白川追分町

京都大学大学院理学研究科生物物理学教室 七田教授室

E-mail: [ambsj2013@rh.biophys.kyoto-u.ac.jp](mailto:ambsj2013@rh.biophys.kyoto-u.ac.jp)

# 日本生物物理学会第51回年会 実行委員会

年会実行委員長 七田 芳則(京都大学大学院 理学研究科)

## 実行委員

石北 央 (大阪大学大学院 理学研究科)  
井尻 貴之 (京都産業大学 総合生命科学部)  
今井 啓雄 (京都大学 霊長類研究所)  
今元 泰 (京都大学大学院 理学研究科)  
片平 正人 (京都大学 エネルギー理工学研究所)  
加藤 博章 (京都大学大学院 薬学研究科)  
楠見 明弘 (京都大学 物質-細胞統合システム拠点)  
熊崎 茂一 (京都大学大学院 理学研究科)  
五斗 進 (京都大学 化学研究所)  
白川 昌宏 (京都大学大学院 工学研究科)  
高田 彰二 (京都大学大学院 理学研究科)  
寺嶋 正秀 (京都大学大学院 理学研究科)  
西山 雅祥 (京都大学 白眉センター)  
畑 安雄 (京都大学 化学研究所)  
浜地 格 (京都大学大学院 工学研究科)  
林 重彦 (京都大学大学院 理学研究科)  
原田 慶恵 (京都大学 物質-細胞統合システム拠点)  
藤吉 好則 (名古屋大学大学院 創薬科学研究科)  
別所 親房 (京都産業大学 理学部)  
三木 邦夫 (京都大学大学院 理学研究科)  
山下 高廣 (京都大学大学院 理学研究科)  
横山 謙 (京都産業大学 総合生命科学部)  
吉川 研一 (同志社大学大学院 生命医科学研究科)

※50音順。敬称略。

The 51st Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan  
**日本生物物理学会第51回年会(2013年度)**



**開催にあたって**

第51回年会 実行委員長  
**七田 芳則**  
(京都大学大学院 理学研究科)

日本生物物理学会第51回年会を2013年10月28日から30日の日程で、国立京都国際会館で開催します。年会では、来年IUPABを開催するオーストラリア生物物理学会との共催を含め24のシンポジウムと約1,000の一般発表が予定され、活気あふれた議論が展開されると期待しています。京都で年会を開催するのは2004年以来9年ぶりであり、例年とは異なり10月末に開催するため、講義などのDutyをもっておられる方には少し不便をおかけしたかも知れません。一方、この時期の京都は気候が非常によく、ポスター会場でも暑さに邪魔されずに快適に議論ができると期待しています。

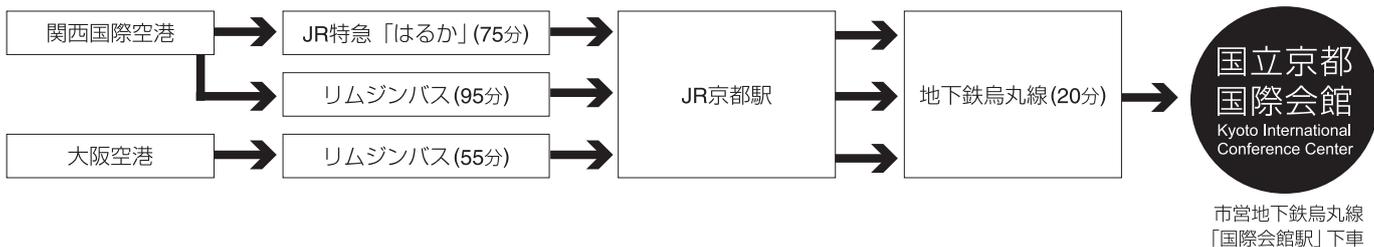
京都年会では、日本生物物理学会が他の学会に先駆けて行っている英語化を踏襲します。一方、一般発表をすべてポスターとして、ポスターに英語と日本語が併記出来る環境を作り、Abstractの字数を少なくすることも行いました。このことにより、ともすれば異なる分野間での理解度が落ちるといふ弊害をなくし、また、Abstractにすぐ結論が出てくるようなトピック的な記述で異なる分野の研究者にもアピールすることを期待しています。さらに、シンポジウムは会員からの応募をすべて受け付けるとともに、生物物理学分野で大型プロジェクトを組織している研究者に積極的にシンポジウムを開催していただきました。その結果、現在の生物物理学研究のトレンドに会員の皆様が容易にアクセス出来るように考えました。

生物物理学は生物と物理の両方の考え方を取り入れた奥の深い学問ですが、奥の深さをいかに潇洒に説明するかが今後の学会の発展に重要なことでしょう。京都年会の機会を捉えて、会員の皆様が自身の研究をわかりやすくスマートに説明できる環境を作って行ければと思います。

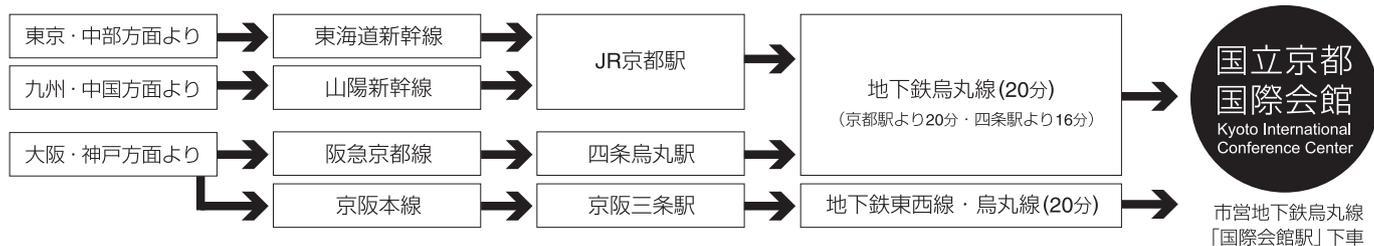
なお、京都は町中がすべて観光地ですので、滞在時間を有効に利用されて、京都を楽しまれることも期待しています。

# 交通のご案内

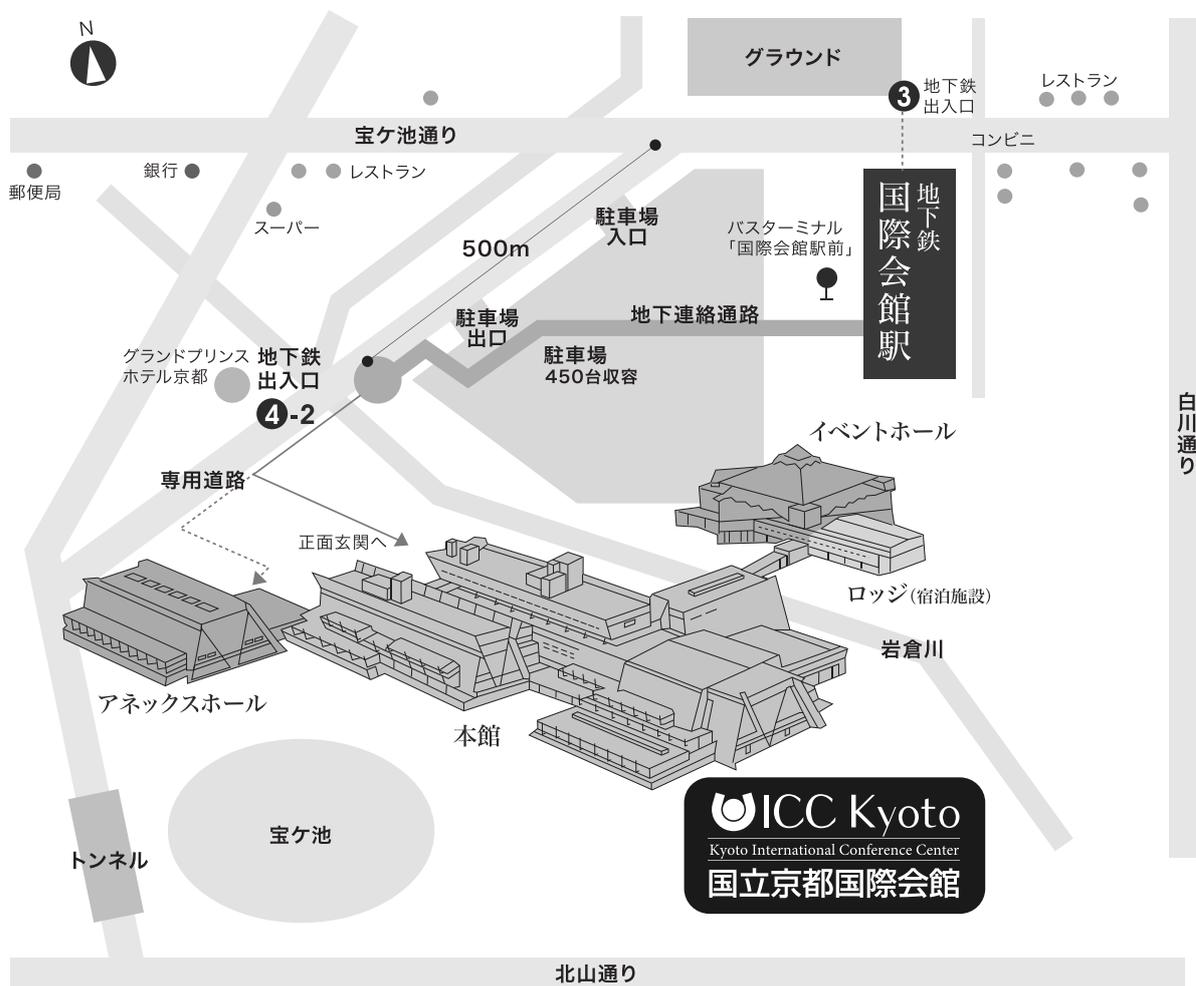
## ■ 飛行機でお越しの方



## ■ 電車でお越しの方



## ■ 周辺MAP



# 会場のご案内

## 国立京都国際会館



エレベーター  
Elevator

化粧室  
Lavatory

多目的トイレ

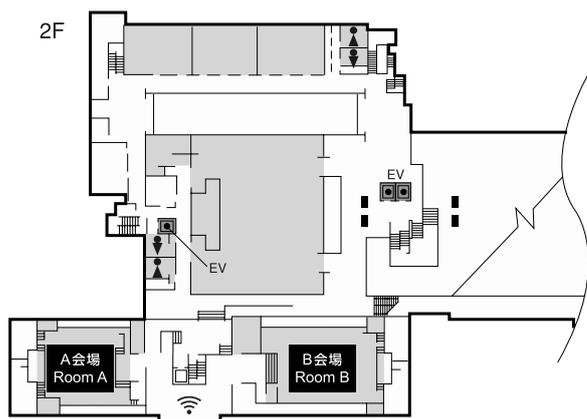
AED設置場所

無線LAN

ポスター展示会場内ドリンクコーナー付近、1階、2階のロビーにおいて無線LANがご利用いただけます。  
※講演会場内は利用できません。

ネットワーク名：ICCK\_Public\_WiFi  
を選択してください。  
ID/パスワード認証はございません。

2F



5F



# 10月28日(月) 年会1日目 【Day 1】 28th Oct.

Kyoto Int'l Conf. Center			08:00	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00
京都国際会館	2F	Room B-2	A会場 Room A			1SAA 光駆動水分解の分子機構： 光化学系Ⅱと人工光合成 Molecular mechanism of light-driven water oxidation: photosystem II and artificial photosynthesis		
		Room B-1	B会場 Room B			1SBA 生物物理学による生体分子ロボットの 設計原理の探求 The Exploration of the design principle of biomolecular robots based on biophysics		
		Room C-1	C会場 Room C			1SCA 生命システムの情報ダイナミクス Information Dynamics in Biological Systems		
	1F	Room D	D会場 Room D			1SDA バーグ教授記念講演と踊る運動 超分子マシナリー Prof Berg's featured lecture and dancing harmonized motility machineries		
		Room E	E会場 Room E			若手奨励賞受賞講演 Early Research in Biophysics Award		
		アネックスホール Annex Hall	ポスター会場 Poster Session			ポスター貼付・掲示 Poster Set-up, Viewing 9:00~13:30		
企業展示 Exhibition				機器・試薬・書籍展示 Exhibition 9:30~17:00				
5F	Room 553	会議室 Meeting Room					第4回運営委員会 12:20~13:20	

14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00		21:00	
1L5 マルバーン (スペクトリス株式会社) Malvern Japan Division of Spectris Co., Ltd.						1SAP カラフルな植物光環境感覚タンパク質 Colorful plant light-perceptive proteins									
1L4 独立行政法人 理化学研究所 HPCI計算生命科学推進プログラム RIKEN, HPCI Program for Computational Life Science						1SBP 進化する1分子シーケンサー Advanced Single Molecule Sequencing System									
1L3 Protein Data Bank Japan						1SCP <i>In vivo</i> の生物物理学への挑戦 Challenges to <i>in vivo</i> biophysicss									
1L1 オリンパス株式会社 Olympus Corporation		BIOPHYSICS 論文賞 受賞講演 15:30~15:50				1SDP 構成アプローチの進展によって 見えてきた細胞合成 Developments in constructive approach towards cell synthesis									
1L2 株式会社菱化システム Ryoka Systems Inc.						1SEP 相関構造生物学とX線溶液散乱 Integrative structural biology and biomolecular SAXS									
ポスター討論 Poster Presentation 奇数/ Odd num. 13:30~14:30		ポスター討論 Poster Presentation 偶数/ Even num. 14:30~15:30		ポスター掲示 Poster Viewing 15:30~16:30		撤去 Removal 16:30~ 17:00									
BIOPHYSICS 編集委員会 13:20~14:20						若手賞選考委員会 16:00~17:00				新旧合同委員会 18:40~19:40					

# 10月29日(火) 年会2日目 【Day 2】 29th Oct.

Kyoto Int'l Conf. Center			08:00	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00
2F	Room B-2	A会場 Room A			2SAA 生物ダイナミズムの源泉を問うー “非生物的揺らぎ”が生み出す“生物的揺らぎ” Searching for the origins of the dynamism of life - how do random fluctuations turn into biological motions?		2L5 DKSHジャパン株式会社 DKSH Japan K.K.	
	Room B-1	B会場 Room B			2SBA 反応場デザインによる生命現象の再構成 -創って知る生物物理- Reconstitution of life phenomena in a designed reaction field: Synthetic biology approach to Biophysics		2L4 株式会社オプトライン OPTO-LINE, Inc.	
1F	Room C-1	C会場 Room C			2SCA 最新イオンチャネル分子科学: 素過程から疾患克服まで Single Ion Channels updated: From elementary processes to disease treatments		2L3 日本エフィー・アイ株式会社 FEI Company Japan Ltd.	
	Room D	D会場 Room D			2SDA 少数個分子の協同が生み出す 生命機能のメカニズム Biological functions derived from cooperation of a small number of molecules		分野別専門委員会 11:30~12:25	総会 Assembly 12:30~14:00
	Room E	E会場 Room E			2SEA 構造細胞生物学の生物物理学的ところ Biophysical views in structural cell biology		2L2 浜松ホトニクス株式会社 HAMAMATSU PHOTONICS K.K.	
	Room F	会議室 Meeting Room			企業との意見交換会 9:30~11:00		若手の会会議 11:30~12:30	
	アネックスホール Annex Hall	ポスター会場 Poster Session			ポスター貼付・掲示 Poster Set-up, Viewing 9:00~14:00			
	企業展示 Exhibition			機器・試薬・書籍展示 Exhibition 9:30~17:00				

京都国際会館

		14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
					2SAP ロドプシン研究の過去・現在・未来 Rhodopsin Research: Past, Present and Future		懇親会 グランドプリンスホテル京都 プリンスホール Banquet		
					2SBP 過渡的複合体が関わる生命現象の統合的理解 transient macromolecular complexes involved in multilevel biological phenomena				
					2SCP 核内混み合い環境でのヌクレオソーム、 クロマチンの機能発現機構 Functional dynamics of Nucleosome and Chromatin in Nuclear Crowding Environment				
					2SDP ASB-BSJ Bilateral Symposium 2013				
					2SEP 多細胞システムにおける秩序生成の 仕組みを探る：動く細胞と場のクロストーク Exploring mechanisms of emerging order in multicellular systems: Cross-talk between moving cells and microenvironment				
	生物物理 編集委員会 2 14:00～ 14:30								
	ポスター討論 Poster Presentation 奇数/ Odd num. 14:00～15:00	ポスター討論 Poster Presentation 偶数/ Even num. 15:00～16:00	ポスター 掲示 Poster Viewing 16:00～ 16:30	撤去 Removal 16:30～ 17:00					

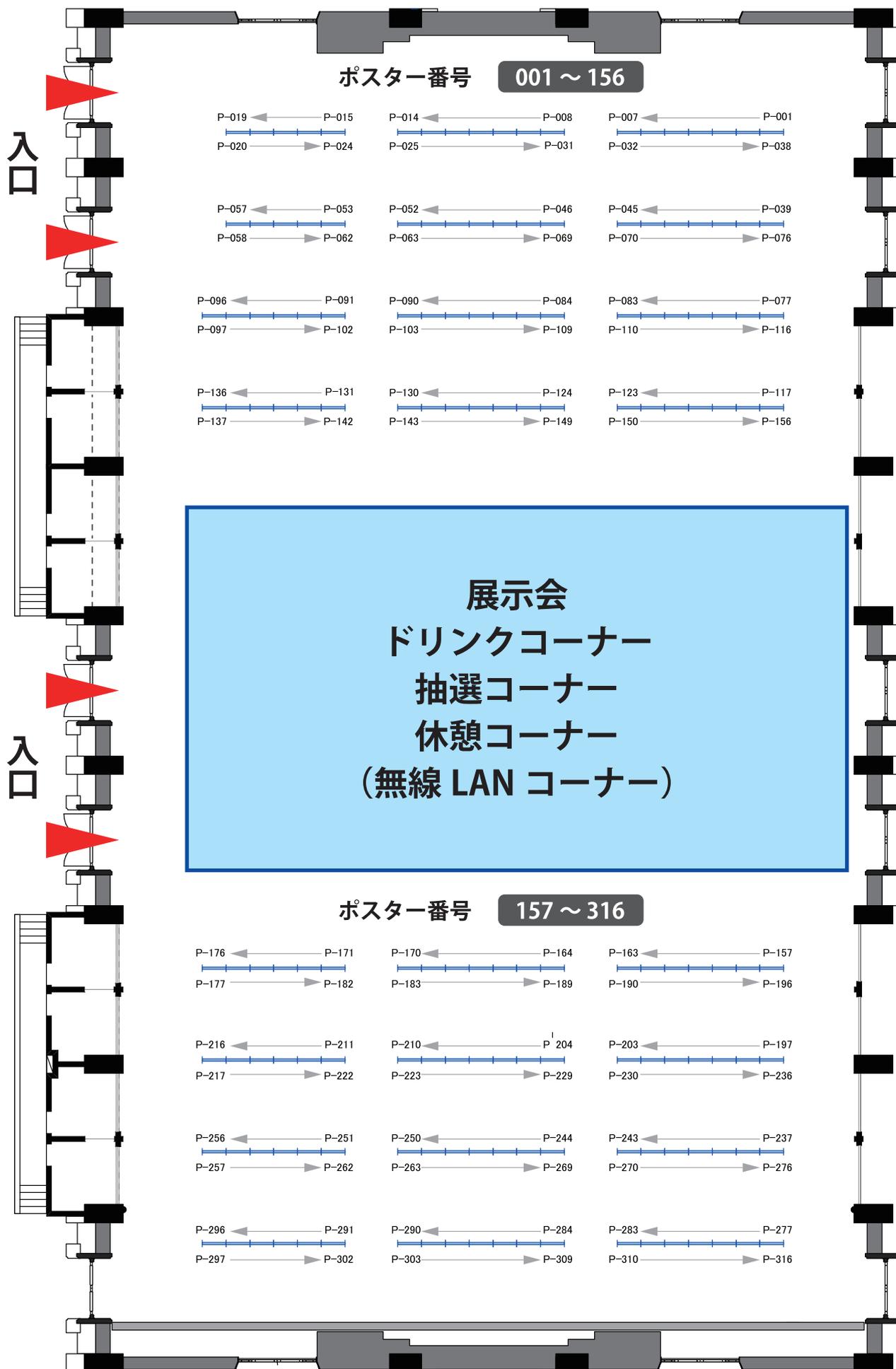
# 10月30日(水) 年会3日目 【Day 3】 30th Oct.

Kyoto Int'l Conf. Center			08:00	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00
京都国際会館	2F	Room B-2	A会場 Room A			3SAA 生物物理学の近未来 -バイオ・ラマン研究の効きどころ- The Points in Bio-Raman Research		科研費 説明会
		Room B-1	B会場 Room B			3SBA 光学イメージングによる脳神経研究の最前線 -1分子から in vivoまで- Cutting-edge optical imaging approach to neuroscience -From single molecule to in vivo-		
	1F	Room C-1	C会場 Room C			3SCA 生命現象の理解と核酸医薬を指向した 機能性核酸の研究の最前線 Frontier of functional nucleic acids toward elucidation of biological events and nucleic acid medicine		
		Room D	D会場 Room D			3SDA 個体の生物物理学 -分子・細胞・個体にブリッジ- Biophysics toward <i>In Vivo</i> work		
		Room E	E会場 Room E			3SEA アミロイド線維形成における 膜界面の役割 Roles of Membrane Interface in amyloidogenesis		
		Room F	会議室 Meeting Room				男女共同参画委員会 11:00~12:30	
アネックスホール Annex Hall	ポスター会場 Poster Session				ポスター貼付・掲示 Poster Set-up, Viewing 9:00~13:45			
	企業展示 Exhibition				機器・試薬・書籍展示 Exhibition 9:30~16:00			



14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00		21:00	
3L4-1 公益財団法人 高輝度光科学研究センター Japan Synchrotron Radiation Research Institute 3L4-2 自然科学研究機構 基礎生物学研究所 IBBPセンター NIBB Center of the Interuniversity Bio-Backup Project															
男女共同参画 若手問題シンポジウム Promoting Gender Equality															
3L1 株式会社ニコンインステック NIKON INSTECH CO., LTD.															
3L2 ソーラボジャパン株式会社 Thorlabs Japan Inc.															
第5回運営委員会 13:30~14:30															
ポスター討論 Poster Presentation 奇数/ Odd num. 13:45~14:45		ポスター討論 Poster Presentation 偶数/ Even num. 14:45~15:45		撤去 Removal 15:45~ 16:15											

# ポスター会場のご案内 - 国立京都国際会館 アネックスホール



# 参加者へのご案内

## 1. 年会受付と参加登録

### ◇ 年会受付

場 所: 国立京都国際会館 本館 1 階エントランス (フロア案内図をご参照ください)  
受付時間: 10 月 28 日(月) 9:00-17:00  
10 月 29 日(火) 8:00-17:00  
10 月 30 日(水) 9:00-15:00

### ◆ 事前登録

#### 日本生物物理学会 会員

事前登録が完了された方は、参加証および領収証が送付されますので、会場での受付は不要です。当日は必ず参加証をお持ちください。

#### 非会員

事前登録が完了された方は、会期当日に受付内「非会員 事前デスク」にてプログラム集、参加証、領収証をお渡しいたします。

※ネームホルダーは当日配布しますので、会場内では必ずご着用ください。

注意 1) 事前登録は年会参加登録費(参加費)の振込後に完了します。振込がない場合、オンライン登録は無効となります。当日受付で当日参加費をお支払いください。

注意 2) 日本生物物理学会会員は年度会費を納めていない場合、参加証が送付されません。年度会費未納者・新規入会受付デスクにて年度会費をお支払いください。

注意 3) 参加費・年度会費ともに振込済みで、参加証が事前送付されていない場合は、総合受付デスクまでお越しください。

### ◆ 当日登録

事前登録が完了していない方は当日登録をしていただきます。当日受付にお越しの上、参加費を現金でお支払いください。

### ◇ 当日年会諸費用 (一覧表)

当日参加	会員				非会員		
	正会員	シニア会員	大学院生	学部学生	一般	大学院生	学部学生
当日参加費 Registration	¥9,000	¥5,000	¥5,000	¥0	¥12,000	¥6,000	¥0
懇親会費 Banquet	¥7,000	¥5,000	¥5,000	¥3,000	¥7,000	¥5,000	¥3,000

- 学部学生の参加費は無料です。当日受付で学生証を提示してください。参加証と年会プログラム集をお渡しします。ただし、懇親会は有料です。
- 若手招待講演者、BIOPHYSICS 論文賞受賞講演者は、懇親会は招待です。既に懇親会参加費を振り込まれている場合は、総合受付で返却します。

## ◇ 参加証(名札)

参加証は会場内では必ずご着用ください。参加証のない方のご入場は固くお断りいたします。  
事前送付された参加証は必ず会場にお持ちください。(ネームホルダーは会場内で配布します)

## ◇ 領収書の発行

参加証とともに領収書をお渡しいたしますが、別の形式の領収書が必要な場合、お渡しした領収書と引き換えに発行いたします。

## ◇ プログラム集/オンライン予稿集

講演予稿集は冊子体で制作いたしません。プログラム集(前付・プログラム・ポスター目次、広告を含む)は日本生物物理学会会員に事前送付いたします。抄録本文を含む講演予稿集はオンライン上のダウンロードシステムより閲覧していただくことになります。プログラム集は年会受付でも当日販売(3,500円)を行います。

プログラム(タイトル、発表者、所属)は予稿集発行日以後に、年会ホームページにて公開します。また年会終了後は、半年ほど経て、日本生物物理学会ホームページの年会の記録(<http://www.biophys.jp/ann/ann02.html>)から CiNii(国立情報学研究所の論文情報ナビゲータ)にリンクが張られ、CiNiiの生物物理のページ([http://ci.nii.ac.jp/organ/journal/INT1000001547\\_jp.html](http://ci.nii.ac.jp/organ/journal/INT1000001547_jp.html))で予稿本文が公開されます。

## ◇ プログラム検索・要旨閲覧アプリ【2013年10月24日(木)公開予定】

スマートフォン(iPhone/Android)やタブレット(iPad/iPod Touch/Android)端末に対応した電子抄録アプリをご利用いただけます(演題検索、タイムテーブル一覧表示、ブックマーク登録等)。  
App Store、Google Play(旧 Android マーケット)よりダウンロードしてください(無料)。

アプリケーション名: 第51回日本生物物理学会年会 検索ワード: 生物物理、日本生物物理学会、bsj2013
---

## ◇ 年度会費の支払いと入会の手続き

日本生物物理学会の年度会費が未納の場合は、年会受付の年度会費未納者・新規入会受付デスクでお支払いください。また、日本生物物理学会への新規入会も受け付けます。

---

## 2. 会場内のサービス・施設

### ◇ クローク

場 所: 国立京都国際会館 本館 1階正面玄関 (第1クローク)

国立京都国際会館 本館 1階中央エレベーター前 (第2クローク)

利用時間: 10月 28日(月) 9:00~19:00  
29日(火) 8:00~19:15  
30日(水) 9:00~16:30

※貴重品や傘、またコンピュータなどについては、破損、紛失などの責任は負いかねますので、各自でお持ちください。

※懇親会へ移動される際は荷物をお引き取りの上、懇親会会場にお持ちください。

## ◇ 昼食

ランチョンセミナー、男女共同参画・若手問題シンポジウム、科研費説明会では、お弁当とお茶が無料で提供されます。積極的にご参加ください。また会期中以下の食堂をご利用できます。

◇国立京都国際会館 本館 1階 レストラン「グリル」 10月28日(月)～30日(水) 10:00～17:00
--

## ◇ 呼び出し

会場内での呼び出しは、緊急の場合を除いて一切行いません。参加者間の連絡用として、年会受付に伝言板を設置しますので、ご利用ください。

## ◇ 駐車場

会場には会場付設の駐車場(有料)がありますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

## ◇ 宿泊案内

宿泊に関しては年会ホームページ「宿泊について」をご参照ください。

## ◇ インターネットならびにドリンクコーナーのご案内

・インターネット: ポスター展示会場内ドリンクコーナー付近、1階、2階のロビーにおいて無線LANがご利用いただけます。※講演会場内は利用できません。  
ネットワーク名: ICCK\_Public\_WiFi を選択してください。  
ID/パスワード認証はございません。

・ドリンクコーナー:ポスター展示会場(国立京都国際会館 アネックスホール)内

## ◇ 託児所

年会期間中は、託児所を設置いたします。詳しくは年会ホームページをご覧ください。

---

## 3. 年会行事・プログラム

### ◇ 総会

日本生物物理学会第52回定例総会を、年会2日目、10月29日(火)12:30-14:00にD会場(国立京都国際会館 Room D)で開催しますのでご出席ください。詳しくは開催通知をご覧ください。

### ◇ 若手招待講演

日本生物物理学会若手奨励賞の選考会である講演会を、年会1日目、10月28日(月)9:45-12:15にE会場(国立京都国際会館 Room E)で開催します。

### ◇ BIOPHYSICS 論文賞受賞講演

BIOPHYSICS 論文賞受賞の講演会を、年会1日目10月28日(月)15:30-15:50にD会場(国立京都国際会館 Room D)で開催します。

---

---

◇ 懇親会

日時： 2013年10月29日(火)19:00-21:00

会場： グランドプリンスホテル京都 プリンスホール 京都市左京区岩倉幡枝町 1092-2

※懇親会の当日参加も受け付けます(会場前でも受け付けいたします)。

◇ 男女共同参画・若手問題シンポジウム

日時： 2013年10月30日(水)12:30-13:20

会場： C会場(国立京都国際会館 RoomC-1)

昼食： お弁当とお茶が無料で提供されます。

◇ 科研費説明会

日時： 2013年10月30日(水)12:30-13:20

会場： A会場(国立京都国際会館 RoomB-2)

昼食： お弁当とお茶が無料で提供されます。

◇ ランチョンセミナー

昼食(お弁当とお茶、無料)をとりながらの協力企業によるセミナーに、ご参加ください。なお、お弁当の数に限りがあるため当日午前中に整理券を配布いたします。セミナー開始前に、会場入り口で整理券と引き換えにお弁当を受け取り、ご入場ください。

◆整理券の発券について

ランチョンセミナー整理券は配付デスクにて配付いたします。

時間：10月28日・30日 9:00-11:00、29日8:00-11:00

場所： 国立京都国際会館 本館1階中央エレベーター付近

※整理券はランチョンセミナー共催の企業、団体よりご提供いただく昼食の引換券になります。

当日開催されるセミナー分のみ発券いたします。券は数が無くなり次第終了となります。

◆整理券の注意事項

**整理券は各日、セミナー開始後、無効となります。**

午前のプログラム終了後、ランチョンセミナー開始時間までにご来場ください。

セミナー開始までにご来場されない場合、整理券は無効となり、お弁当は整理券をお持ちでない

参加者にご利用いただきますことをご了承ください。

◇ 機器・試薬・書籍等展示会

機器、試薬、ソフトウェア、書籍などの展示会を国立京都国際会館 アネックスホールで行います。

◇ 市民講演会

テーマ： 生命を“診る・観る”

日時： 10月27日(日) 13:00-16:00

会場： 京都大学芝蘭会館

お問い合わせ： 年会事務局までお願いします。

E-mail: [ambsj2013@rh.biophys.kyoto-u.ac.jp](mailto:ambsj2013@rh.biophys.kyoto-u.ac.jp)

---

---

## 4. 禁止事項

### ◇ 撮影・録音

会場内でのカメラ、ビデオ、携帯電話などによる撮影や講演音声の録音などを禁止します。

### ◇ 喫煙・飲食

館内は終日禁煙です。講演会場内での飲食はランチオンセミナー、男女共同参画・若手問題シンポジウム、科研費説明会、各種委員会など食事が提供される場合を除いて禁止します。

### ◇ 携帯電話

シンポジウム、口頭発表、ポスター発表等の講演会場内での携帯電話による通話を禁止します。講演会場内では電源をオフにするかマナーモードに設定し、呼び出し音が鳴らないようご注意ください。

---

## 5. 年会についての問い合わせ

### ◇ 会期中

年会本部 (Phone number reachable during the meeting)  
Tel: 090-1664-4015

### ◇ 会期外

#### 年会事務局

E-mail: ambsj2013@rh.biophys.kyoto-u.ac.jp

#### 参加登録・演題登録 システムサポートデスク

〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-11 浜田ビル5F  
中西印刷株式会社 東京営業部内  
E-mail: bsj2013sys-spirt@e-naf.jp

#### 年会実行委員会サポート・展示・広告問い合わせ先

〒101-0051 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 岩波書店一ツ橋別館 4F  
株式会社エー・イー企画 展示会事業部  
Tel: 03-3230-2744(代表) Fax: 03-3230-2479  
実行委員会サポート関連: jbp2013@aeplan.co.jp  
広告関連 E-mail: adinfo@aeplan.co.jp  
展示関連 E-mail: e\_jbp51@aeplan.co.jp

---

---

## 6. 発表者へのご案内

### ◇ 使用言語

シンポジウムおよび一般の口頭発表は、原則として、英語をお使いください。

### ◇ 映写機器

発表に使用できる映写機器は、液晶プロジェクターのみです。音声出力には対応しません。会場にはパソコンを用意致しません。ご自身のノートパソコンを必ずお持ちください。

注意 1) 会場スタッフがパソコンを会場に備え付けられた切り替え装置 (Video Switcher) に接続致します。

注意 2) 切り替え装置に繋がるパソコンの映像出力端子は、「ミニ D-sub15 ピン端子 (メス)」\* (3 列あるもの) のみです。端子の形状が異なる場合 (Macintosh 等)、変換アダプターをお持ちください。  
\*読み: みに D さぶ 15 ピンたんしメス

注意 3) 発表に使用するパワーポイントファイルが入った USB メモリーを念のためにお持ちください。

注意 4) バッテリー切れに備え、必ず電源アダプターをお持ちください。

### ◇ シンポジウム、若手招待講演の座長の方へ

**受付:** 座長の方はシンポジウム開始 15 分前までに各会場の「座長席」までおいでください。会場には時間を計測するスタッフを置いています。

**進行:** シンポジウムの進行と時間管理は座長に一任いたしますが、終了予定時刻を越えないようご注意ください。

### ◇ シンポジウム、若手招待講演の講演者の方へ

**受付:** 講演者の方は、シンポジウム開始の 15 分前までに各会場においでください。発表スライドをご確認頂いた後、会場スタッフがパソコンを切り替え装置 (Video Switcher) に接続いたします。※スライドチェック用の試写室は設けておりません。

**講演時間:** 時間配分は座長に一任します。  
若手招待講演の講演時間は、発表 10 分、討論 3 分、パソコンの交換に 2 分です。

## ◇ ポスター発表の方へ

ポスターの貼付、展示、説明・討論、撤去:

		10月28日(月)	10月29日(火)	10月30日(水)
貼付・展示		9:00-13:30/ 15:30-16:30	9:00-14:00/ 16:00-16:30	9:00-13:45
説明・討論	奇数番号	13:30-14:30	14:00-15:00	13:45-14:45
	偶数番号	14:30-15:30	15:00-16:00	14:45-15:45
撤去		17:00 までに撤去	17:00 までに撤去	16:15 までに撤去

1. ポスターは日替わりで貼り替えてください。
2. ポスターボードの大きさは、幅 90 cm、高さ 210 cm。貼付に必要な押しピンは会場に用意します。
3. 発表代表者の氏名には左肩に小さな○印を付けてください。
4. 撤去時間を過ぎて残ったポスターは年会事務局にて破棄しますので、ご了承ください。

## ◇ ポスター発表要項

ポスターは英語で作成してください。ただし、タイトル、所属、発表者名は、可能であれば日本語の併記もお願いいたします。

## ◇ 発表形式と演題番号(各抄録左上の番号)の見方

発表には、シンポジウム発表(Symposium Talk)、若手招待講演(Early Research in Biophysics Award Candidate Presentations)、ポスター発表(Poster Presentation)があります。

### シンポジウム発表:(例)1SAA03

1文字目は発表日(1:10月28日、2:10月29日、3:10月30日)、2文字目はSymposium、3文字目は会場名(A会場)、4文字目は午前・午後(AM,PM)、最後の2桁の数字は発表順を示します。

### 若手招待講演:1YEA1045

1文字目は発表日(1:10月28日)、2文字目はYoung (Scientists)、3文字目は会場名(E会場)、4文字目は午前・午後(AM,PM)、最後の4桁の数字は講演開始時刻です。

### ポスター発表:(例1)1P001

1文字目は発表日(1:10月28日、2:10月29日、3:10月30日)、2文字目はPoster、最後の3桁の数字はパネル番号を示します。

## ◇ Language

English

## ◇ Presentation equipments

Please bring your own laptop and connect it to our projector for your presentation.  
We will not provide a sound output.

- Attention1) Please connect the computer to a video switcher.  
Attention2) The video output connector of presenter's laptop should be "miniD-sub15pin (female)". If the connector is not this type (for example, that of Macintosh computer), please bring an adaptor.  
Attention3) Speaker is advised to bring his/her PowerPoint file in a USB memory.

---

---

◇ **To Symposium Chairs**

Please come to the “Chair’s seat” at the symposium room by 15 minutes before the starting time. The timekeeper will assist with timing by bell signal.

The chairs are expected to ensure that all presentations start and finish punctually as scheduled.

◇ **To Symposium Speakers**

Please come to the symposium room 15 min before the start of the symposium. After confirming your presentation slides, our staff will check fitness of the connection between your PC and our projector.

\*Please note that there is no preview room.

◇ **To Poster Presenters**

		Day 1, Oct. 28	Day 2, Oct. 29	Day 3, Oct. 30
Set-up, Viewing		9:00-13:30 / 15:30-16:30	9:00-14:00 / 16:00-16:30	9:00-13:45
Presentation Discussion	Odd Numbers	13:30-14:30	14:00-15:00	13:45-14:45
	Even Numbers	14:30-15:30	15:00-16:00	14:45-15:45
Removal		until 17:00	until 17:00	until 16:15

If you have any questions, please contact us by email ([ambsj2013@rh.biophys.kyoto-u.ac.jp](mailto:ambsj2013@rh.biophys.kyoto-u.ac.jp)).

◇ **Instructions for Poster Presentations**

Posters will be mounted at the poster room day by day.

Poster board size is 90 cm in width and 210 cm in height.

◇ **Presentation Types and Decoding Presentation Numbers**

Presentation types are Symposium Talk, Young Scientists Invited Talk and Poster.

**Symposium Talk: (Ex.) 1SAA03**

Presentation day (1: Oct 28, 2: Oct 29, 3: Oct 30) + Symposium (S) + Session room (room A) + AM (A) /PM(P) + Order of the talk

**Early Research in Biophysics Award Candidate Presentations: (Ex.) 1YEA1045**

Presentation day (1: Oct 28) + Young Scientists(Y) + Session room (room E)+ AM(A) /PM(P)  
+ Starting time of the talk

**Poster Presentations: (Ex.) 1P001**

Presentation day (1: Oct 28, 2: Oct 29, 3: Oct 30) + Poster (P) + Panel number

## 7. 日本生物物理学会第52回定例総会開催通知

日時: 2013年10月29日(火)12:30-14:00

場所: D会場(国立京都国際会館 Room D)

日本生物物理学会第52回定例総会を開催いたします。主な議題は下記の通りです。是非ご出席ください。都合で出席できない方は委任状(葉書、切手貼付、本誌とじこみ)を総会開始前にご送付ください。また、委任状は年会受付にも用意します。総会開始前に年会受付にご提出ください。

議長 年会実行委員長 七田芳則

### 総会議題

#### (1) 報告、承認事項

(会長 難波啓一)

平成24年度決算報告ならびに監査結果報告

平成25年度会計ならびに事業の中間報告、平成25年度の今後の計画

一般社団法人への移行について

(次期会長 七田芳則)

平成26・27年度役員選挙結果の報告

平成26年度、平成27年度予算案および事業計画

#### (2) その他

## 8. 運営委員会、各種委員会の案内

生物物理編集委員会1	10月27日(日)15:00~18:00	京都大学 物質-細胞統合システム拠点 本館2階セミナー室
ホームページ編集委員会	10月27日(日)16:00~18:00	京都大学 物質-細胞統合システム拠点 本館2階展示室
平成25年度第4回運営委員会	10月28日(月)12:20~13:20	国立京都国際会館 5階 Room 553
BIOPHYSICS 編集委員会	10月28日(月)13:20~14:20	国立京都国際会館 5階 Room 553
若手賞選考委員会	10月28日(月)16:00~17:00	国立京都国際会館 5階 Room 553
新旧合同委員会	10月28日(月)18:40~19:40	国立京都国際会館 5階 Room 553
企業との意見交換会	10月29日(火) 9:30~11:00	国立京都国際会館 1階 Room F
若手の会会議	10月29日(火)11:30~12:30	国立京都国際会館 1階 Room F
分野別専門委員会	10月29日(火)11:30~12:25	国立京都国際会館 1階 Room D
生物物理編集委員会2	10月29日(火)14:00~14:30	国立京都国際会館 1階 Room F
男女共同参画委員会	10月30日(水)11:00~12:30	国立京都国際会館 1階 Room F
平成25年度第5回運営委員会	10月30日(水)13:30~14:30	国立京都国際会館 1階 Room F

---

---

## 謝 辞

本年会の開催・運営に当たり、以下の団体よりご協力・ご援助いただきました。  
関係者一同より御礼申し上げます。

京都大学芝蘭会館

新学術領域研究 「動く細胞と場のクロストークによる秩序の生成」

新学術領域研究 「運動超分子マシナリーが織りなす調和と多様性」

新学術領域研究 「過渡的複合体が関わる生命現象の統合的理解」

新学術領域研究 「感覚と知能を備えた分子ロボットの創成」

新学術領域研究 「細胞シグナリング複合体によるシグナル検知・伝達・応答の構造的基礎」

新学術領域研究 「少数性生物学—個と多数の狭間が織りなす生命現象の探求—」

新学術領域研究 「植物の環境感覚:刺激受容から細胞応答まで」

新学術領域研究 「人工光合成による太陽光エネルギーの物質変換:  
実用化に向けての異分野融合」

新学術領域研究 「天然変性タンパク質の分子認識機構と機能発現  
—生理的準安定状態を捉える新技術—」

新学術領域研究 「ナノメディシン分子科学」

日本生物物理学会第 51 回年会  
実行委員長 七田 芳則

---

---

## 日本生物物理学会第 51 回年会 市民講演会 生命を“診る・観る”

**日 時**：2013 年 10 月 27 日（日）13:00~16:00

**会 場**：京都大学芝蘭会館

（京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内）

京都市バス 31・65・201・206 系統「京大正門前」停留所 徒歩 2 分

京阪電気鉄道「出町柳」駅 徒歩 15 分

**参加費**：無料（どなたでも自由に参加できます）

**主 催**：日本生物物理学会第 51 回年会 実行委員会

**世話人**：原田慶恵（京都大学物質・細胞統合システム拠点）

七田芳則（京都大学大学院理学研究科）

---

### 講演プログラム

「iPS 細胞の網膜疾患への応用」

高橋政代 プロジェクトリーダー

（理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター）

「生命の不思議：1 ワットで働く脳、2 千万ワット使うスパコン」

柳田敏雄 教授

（大阪大学大学院生命機能研究科）

---

講演は日本語で行われます。

## 若手招待講演 Early Research in Biophysics Award

第1日目 (10月28日(月)) / Day 1 (Oct. 28 Mon.)

9:45~12:15 E会場: Kyoto Int'l Conf. Center Room E

1YE 日本生物物理学会若手奨励賞選考会

Early Research in Biophysics Award Candidate Presentations

オーガナイザー: 男女共同参画・若手問題検討委員会

Organizer: The Committee of Promoting Gender Equality and Young Scientists

In 2005, the Biophysical Society of Japan has established Early Research in Biophysics Award to recognize distinguished research work by young members of the BSJ. In this eighth year, we received 43 highly qualified applications. After extremely competitive first round of screening based on written application forms, the following ten applicants were selected as the "young guest speakers." For the second round of the nomination, each young speaker will be asked to make a 10-minute presentation followed by 3-minute Q&A discussion. At the end of these rounds, up to five award winners will be selected. The award winners will be announced at the banquet in the evening of Saturday 17th September, and the winners will deliver a short talk. We welcome all the BSJ members to attend the oral presentations on Monday 28th October at the Early Research in Biophysics Award Candidate Presentations and would like the members to foresee the future of biophysics in Japan through these speakers and their researches.

- 9:45 乙須 拓洋 3P052  
1YE0945 二次元蛍光寿命相関分光法による BdpA 変性状態における構造ダイナミクスの解析  
**Two-dimensional fluorescence lifetime correlation spectroscopy on the conformational dynamics of the unfolded state of BdpA**  
○乙須 拓洋<sup>1</sup>, 石井 邦彦<sup>1</sup>, 小井川 浩之<sup>2</sup>, 新井 宗仁<sup>3</sup>, 高橋 聡<sup>2</sup>, 田原 太平<sup>1</sup> (<sup>1</sup>理研・田原分子分光, <sup>2</sup>東北大・多元研, <sup>3</sup>東大・総合文化)  
Takuhiko Otsu<sup>1</sup>, Kunihiro Ishii<sup>1</sup>, Hiroyuki Oikawa<sup>2</sup>, Munehito Arai<sup>3</sup>, Satoshi Takahashi<sup>2</sup>, Tahei Tahara<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Mol. Spectrosc. lab., RIKEN, <sup>2</sup>IMRAM, Tohoku Univ., <sup>3</sup>Grad. Sch. Arts. Sci., Univ. Tokyo)
- 10:00 片山 耕大 1P251  
1YE1000 霊長類色覚視物質の変異体に対する赤外分光研究  
**FTIR study of mutants of primate color pigments**  
○片山 耕大<sup>1</sup>, 川田 大輝<sup>1</sup>, 今井 啓雄<sup>2</sup>, 和田 昭盛<sup>3</sup>, 神取 秀樹<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名古屋工業大学大学院工学研究科 未来材料創成工学専攻, <sup>2</sup>京都大学, <sup>3</sup>神戸薬科大学)  
Kota Katayama<sup>1</sup>, Daiki Kawata<sup>1</sup>, Hiroo Imai<sup>2</sup>, Akimori Wada<sup>3</sup>, Hideki Kandori<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Department of Frontier Materials, Nagoya Institute of Technology, <sup>2</sup>Primate Research Institute, Kyoto University, <sup>3</sup>Organic Chemistry for Life Science, Kobe Pharmaceutical University)
- 10:15 古賀 信康 1P088  
1YE1015 理想タンパク質構造のデザイン原理  
**Principles for designing ideal protein structures**  
○古賀 信康<sup>1</sup>, 古賀 (巽) 理恵<sup>1</sup>, Liu Gaohua<sup>2</sup>, Xiao Rong<sup>2</sup>, Montelione Gaetano T.<sup>2</sup>, Baker David<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Univ. Washington, Dept. of Biochemistry, <sup>2</sup>Rutgers Univ., Dept. Mol. Biol. and Biochem.)  
Nobuyasu Koga<sup>1</sup>, Rie Koga(Tatsumi)<sup>1</sup>, Gaohua Liu<sup>2</sup>, Rong Xiao<sup>2</sup>, Gaetano T. Montelione<sup>2</sup>, David Baker<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Univ. Washington, Dept. of Biochemistry, <sup>2</sup>Rutgers Univ., Dept. Mol. Biol. and Biochem.)
- 10:30 古寺 哲幸 1P156  
1YE1030 高速 AFM によって明らかとなったミオシン V の化学-力学変換メカニズム  
**Chemomechanical coupling mechanism of myosin V revealed by high-speed AFM**  
○古寺 哲幸<sup>1</sup>, 内橋 貴之<sup>1,2</sup>, 八木 健太<sup>2</sup>, 安藤 敏夫<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>金沢大学理工研究域バイオAFM先端研究センター, <sup>2</sup>金沢大学理工研究域数物科学系)  
Noriyuki Koderu<sup>1</sup>, Takayuki Uchihashi<sup>1,2</sup>, Kenta Yagi<sup>2</sup>, Toshio Ando<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Bio-AFM FRC, Inst. Sci. & Eng., Kanazawa Univ., <sup>2</sup>Sch. Math. & Phys., Col. Sci. & Eng., Kanazawa Univ.)
- 10:45 小林 徹也 1P275  
1YE1045 細胞システムの内因的・外因的ゆらぎに対するロバスト性に関する理論的基礎  
**Theoretical basis for robustness of intracellular systems against intrinsic and extrinsic fluctuation**  
○小林 徹也 (東大、生産研)  
Tetsuya Kobayashi (IIS, Univ. Tokyo)

- 11:00 齊藤 圭亮 3P255  
1YE1100 光化学系IIにおけるプロトン移動経路  
**Proton transfer pathway in photosystem II**  
○齊藤 圭亮<sup>1,2</sup>, Rutherford A. William<sup>3</sup>, 石北 央<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>阪大院理・生物, <sup>2</sup>JSTさきがけ, <sup>3</sup>Dept. of Life Sci., Imperial College, London)  
**Keisuke Saito**<sup>1,2</sup>, A. William Rutherford<sup>3</sup>, Hiroshi Ishikita<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Dept. Biol. Sci., Grad. Sch. Sci., Osaka Univ., <sup>2</sup>PRESTO JST, <sup>3</sup>Dept. of Life Sci., Imperial College, London)
- 11:15 中根 大介 1P160  
1YE1115 戦車のような仕組みで動くバクテリア  
**Bacterium moves like a tank**  
○中根 大介<sup>1</sup>, 佐藤 啓子<sup>2</sup>, 和田 浩史<sup>3</sup>, McBride Mark<sup>4</sup>, 中山 浩次<sup>2</sup>, 西坂 崇之<sup>1</sup> (<sup>1</sup>学習院大・理・物理, <sup>2</sup>長崎大・感染免疫, <sup>3</sup>立命館大・物理, <sup>4</sup>ウィスコンシン大・ミルウォーキー校・生物)  
**Daisuke Nakane**<sup>1</sup>, Keiko Sato<sup>2</sup>, Hirofumi Wada<sup>3</sup>, Mark McBride<sup>4</sup>, Koji Nakayama<sup>2</sup>, Takayuki Nishizaka<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept. Phys., Gakushuin Univ., <sup>2</sup>Dept. Mol. Microbiol. Immunol., Nagasaki Univ., <sup>3</sup>Dept. Phys., Ritsumeikan Univ., <sup>4</sup>Dept. Biol. Sci., Univ. Wisconsin Milwaukee)
- 11:30 藤原 慶 2P218  
1YE1130 生細胞に極限まで近い内包物を持つ人工細胞の構築と解析  
**Generation of artificial cells that mimic living cells**  
○藤原 慶<sup>1</sup>, 西澤 賢治<sup>2</sup>, 柳澤 実穂<sup>2</sup>, 野村 M. 慎一郎<sup>1</sup>, 水野 大介<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東北大学工学研究科, <sup>2</sup>九州大学 理学部)  
**Kei Fujiwara**<sup>1</sup>, Kenji Nishizawa<sup>2</sup>, Miho Yanagisawa<sup>2</sup>, Shin-ichiro M. Nomura<sup>1</sup>, Daisuke Mizuno<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Tohoku university, Department of Bioengineering and Robotics, <sup>2</sup>Kyushu university, Department of Physics)
- 11:45 細川 千絵 3P231  
1YE1145 集光レーザービームの光摂動による神経細胞内分子動態の集合操作  
**Optical perturbation of intracellular molecular dynamics of single neuron in living neuronal network**  
○細川 千絵<sup>1</sup>, 武田 尚子<sup>1,2</sup>, 植田 悠介<sup>1,2</sup>, 工藤 卓<sup>2</sup>, 田口 隆久<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>産総所・健康工学, <sup>2</sup>関西学院大・院理工学, <sup>3</sup>情通研・脳情報)  
**Chie Hosokawa**<sup>1</sup>, Naoko Takeda<sup>1,2</sup>, Yusuke Ueda<sup>1,2</sup>, Suguru N. Kudoh<sup>2</sup>, Takahisa Taguchi<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>Health Res. Inst., AIST, <sup>2</sup>Grad. Sci. Eng., Kansai Gakuin Univ., <sup>3</sup>Cinet, NICT)
- 12:00 矢野 義明 1P297  
1YE1200 生細胞における膜タンパク質標識法と会合状態解析法の開発  
**Development of methods for labeling and oligomerization analysis of membrane proteins in live cells**  
○矢野 義明, 河野 健一, 大前 薫, 松崎 紗矢香, 松崎 勝巳 (京大院薬)  
**Yoshiaki Yano**, Kenichi Kawano, Kaoru Omae, Sayaka Mtsuzaki, Katsumi Matsuzaki (*Grad. Sch. Pharm. Sci., Kyoto Univ.*)

---

---

## 日本生物物理学会 第2回 BIOPHYSICS 論文賞受賞講演会 The 2<sup>nd</sup> Award Seminar for outstanding BIOPHYSICS paper

オーガナイザー：日本生物物理学会 BIOPHYSICS 論文賞選考委員会

Organizers: Award committee for outstanding BIOPHYSICS paper

日時：2013年10月28日（月）15:30～15:50

場所：D会場（国立京都国際会館 Room D）

形式：講演会

---

### 第2回 BIOPHYSICS 論文賞受賞者

目次正一<sup>1</sup>, 上野山敦子<sup>2</sup>, Jun-Adan-Kubo<sup>2</sup>, 宮田真人<sup>2</sup>, 河野秀俊<sup>3</sup>, 由良敬<sup>4</sup>, 郷信広<sup>3</sup>

Shoichi Metsugi<sup>1</sup>, Atsuko Uenoyama<sup>2</sup>, Jun-Adan-Kubo<sup>2</sup>, Makoto Miyata<sup>2</sup>, Hidetoshi Kono<sup>3</sup>, Kei Yura<sup>4</sup>, Nobuhiro Go<sup>3</sup>

1) 中外製薬株式会社 2) 大阪市立大学 3) 日本原子力研究開発機構 4) お茶の水女子大学

1) Chugai Pharmaceutical. Co., Ltd. 2) Osaka City University 3) Japan Atomic Energy Agency 4) Ochanomizu University

### *Mycoplasma mobile* の運動蛋白質の配列解析による機能・構造予測

Structure and function prediction by sequence analysis for gliding proteins of *Mycoplasma mobile*

---

*Mycoplasma mobile* glides at an average velocity of about 2.0 to 4.5  $\mu\text{m/s}$ , about ten times faster than the other mycoplasmas. The motile mechanism of *M. mobile* has been believed to differ from any previously identified mechanisms not only in bacteria but also in any other species. To reveal the mechanism, we carried out sequence analyses of Gli349 which is responsible for both adhesion to glass surfaces and motility, and its ortholog MYPU2110 from *Mycoplasma pulmonis*. We found that Gli349 contains 18 repeats of about 100 amino acid residues each in 3,183 residues, and MYPU2110 contains 22 in 3,216 residues. We also showed that the repeat was not homologous to any other known protein and therefore predicted three-dimensional structure [1]. The model structure of Gli349 was proposed which fit well to the images obtained by electron microscopy, assuming that the cleavage by chymotrypsin tend to occur in the regions between the repeats, and that each repeat folds into an independent structural domain [2]. Based on this model, with inhibitory antibodies and mutants, the regions directly involved in movements of *M. mobile* were suggested on Gli349 and Gli521, which are also involved in the gliding machinery [3]. A further study suggested that Gli349 should be a “leg” for the motile apparatus with Gli521 that plays a role of a “crank” for *M. mobile* [4,5]. In the presentation, such a unique motile mechanism of *M. mobile* being elucidated is introduced.

[1] Metsugi et al., Biophysics 1, 33 (2005)

[2] Adan-Kubo et al., J. Bacteriol. 188(8), 2821 (2006)

[3] Uenoyama et al., J. Bacteriol. 191(6), 1982 (2009)

[4] Nonaka et al., J. Bacteriol. 192(3), 636 (2010)

[5] Miyata M. Ann. Rev. Microbiol. 64, 519 (2010)

---

---

**「男女共同参画・若手問題シンポジウム」**  
**「博士号を取得して多様なキャリアパスを手に入れる」**

Alternative Careers after PhD Course

---

**オーガナイザー**：日本生物物理学会 男女共同参画・若手問題検討委員会

**Organizers**: Committee for Promoting Equal Participation of Men and Women and for Encouraging Young Researchers  
in the Biophysical Society of Japan

**日時**：2013年10月30日（水）12:30～13:20（ランチョンセミナーの時間帯）

**場所**：C会場（国立京都国際会館 Room C-1）

**昼食**：お弁当とお茶が無料で提供されます。ただし、数に限りがあります。

**形式**：講演会

**講演者**：3名を予定

---

**概要**：昨年に引き続き、本年のシンポジウムも「博士号を取得して多様なキャリアパスを手に入れる」をテーマとして行うことになりました。景気は若干上向きであるとはいえ、相変わらず、大学、研究機関および企業における新規雇用が少なく、若者が社会で活躍する場が非常に少ない状態が続いています。大学で博士号を取得して研究者としてがんばっていかうと考えていたのに、思うように道を拓くことができないという話も、残念ながらよく聞くようになり、このことで、若い方々が博士号を取得する道に進まなくなってきました。博士号取得者の減少は、長い目で見ると日本の科学技術力の低下につながり、悪循環に陥ることが懸念されます。

この状況を打開するために、日本社会における博士号取得者の評価を高めることも重要ですが、大学で博士号を取得したら、次は大学や研究所で研究をするものであるという固定観念を見直す必要もありそうです。博士号を取得した後に企業で活躍されている方はかなりおられます。また、政府や大学も、博士号取得後のキャリアに関する様々な取り組みを行ってきています。

そこで、今回は生物物理学の分野で、[1] 博士の学位を取られた後、企業の研究所に勤められている方、[2] 修士修了後、公的研究機関に勤務された後に論文博士号を取得された方、[3] 修士修了後、製薬会社に勤務され、博士号取得を目指して会社から大学に派遣されている方について、企業・アカデミアでご活躍の男女若手研究者3名の方をお招きし、それぞれのご経歴に基づいて博士号取得の意味について話していただくことを予定しております。これらのお話を聞きながら、フロアからのご意見や質問を受け、時間が許す限りディスカッションをしていきたいと考えております。特に博士前期および後期課程学生のなまの声が聞こえてくることを期待しています。

老若男女を問わず、ご関心のある方々の参加をお待ちしております。

---

---

## 科研費説明会「科研費制度を知ろう」

Policy about the Grants-in-Aid System

**世話人:** 豊島 陽子 (東京大学大学院総合文化研究科、日本学術振興会学術システム研究センター専門研究員)

**Organizer:** Yoko Y. Toyoshima (The Univ. of Tokyo, JSPS, Research Center for Science Systems, Program Officer)

**日時:** 2013年10月30日(水) 12:30~13:20 (ランチョンセミナーの時間帯)

**会場:** A会場 (国立京都国際会館 Room B-2)

**昼食:** お弁当とお茶が無料で提供されます。ただし、数に限りがあります。

**形式:** 講演会

---

### ○「科研費」の最近の動向

**講師:** 日本学術振興会 研究助成第一課長 松本 昌三

日本学術振興会における、科研費の配分機関として制度の概要、応募から審査、決定までの流れ、補助金、助成金の執行と適切な管理、不正防止に関すること、また、成果の公開、科研費の普及啓発などについて、ご説明いただきます。

### ○日本学術振興会の諸事業における学術システム研究センターの役割

**講師:** 日本学術振興会 学術システム研究センター専門調査役 樋口 和憲

日本学術振興会には、公平・公正で透明性の高い審査・評価の実施のために、学術システム研究センターが設置され、研究機関に籍を置く第一線の研究者が、科研費等の審査委員候補者の選考、審査結果の検証、分科細目表の見直しや制度の改善など、幅広い業務に参画しています。学術的な見地から、最新の学術動向や現場の声を事業運営に反映させるための様々な活動について、ご紹介いただきます。

---

講演は日本語で行われます。